

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
<https://jfpj.jp/>
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2018
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

木材に
興味津々
木材建報ウイワレ
Japan Lumber Reports
電子版

初の純木質耐火集成材を神社施設で採用

文化交流館「EDOCCO」が竣工

神田神社

神田神社(東京都)が、創建1300年の奉祝に向けて境内で建設していた神田明神文化交流館「EDOCCO」が竣工した。同文化交流館は15日に開業する。2〜3階の境内に面した部分は木造とし、耐火集成材(FRウッド)を使用、建物はS造地上4階建て・地下1階、延べ床面積約3700平方メートルで建設された。「伝統と革新」をコンセプトに計画され、神社関連施設で耐火集成材を用い、力強い木造の柱・梁を見せる吹き抜け空間を設けた。

神田神社は2029年、創設1300年を前に「EDOCCO」が竣工した。同文化交流館は15日に開業する。2〜3階の境内に面した部分は木造とし、耐火集成材(FRウッド)を使用、建物はS造地上4階建て・地下1階、延べ床面積約3700平方メートルで建設された。「伝統と革新」をコンセプトに計画され、神社関連施設で耐火集成材を用い、力強い木造の柱・梁を見せる吹き抜け空間を設けた。



「伝統と革新」をコンセプトに建設された

外国人観光客に江戸の文化を発信していく。文化交流館は、1階3階を境内に向けて開

かれた空間とするため

全面に透明ガラスを用い、2〜3階の吹き抜け部分に1時間耐火集成材のFRウッド(販売窓)を友林業、積業、葎剤、理は金沢木材協同組合を使用した。柱は450mm角、3階梁は580x280mm、4階梁は950x320mm。夜間は室内の照明で内部のアー

集成材

FSC SGEI
SGEC/31-31-1007
FSC® C121399 緑の環境

お問い合わせ下さい

TSC 株式会社 ティ・エス・シー

〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ <http://www.syusei-tsc.com>

企画は乃村工芸社、設計・施工は鹿島建設、乃村工芸社が担当した。

水性木部用防腐防蟻剤

アクアアクリル

大日本木材防腐株式会社

化成品事業部
本社 名古屋市港区千鳥1-3-17
TEL.(052)661-1531(代)
FAX.(052)651-3834

主な記事	
▽2面	2018年を顧みる 住宅 相次ぐ災害 復旧活動続く
▽3面	名古屋商況 ムード変化で越年
▽4面	九州版 佐伯広域森林組合
▽5面	この一年 九州 大型工場の建設続く
▽6面	全国木材創業50周年
▽7面	全国銘木展不大会奈良大会と連載 ガルメタの羽ばたきを取り込み、インドネシア住・資材最前線 双日・双日建材

「神田大明神祭礼絵図・西陣織」斉藤上太郎氏が浮かび上がるように設計されている。東京都の「にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業」に採択され、多摩産材約96立方メートルを使用した。

1階店舗部分は本殿の権現造りの屋根を再現した造りで、天井高を約4.7メートルとし、内部に木造の檼を設けて耐火部材にツチ板張り耐木質感を出した仕上げにした。

神田神社が祀る平将門公が多摩地区と縁が深いことも、多摩産材を使用した理由の一つとしている。FRウッドの荷重支持部にはカラ松を使い、ほかの部分には多摩産の杉などを使用した。